



昔話はおもしろい!!

目に見えるように具体的に書かれていること、次々にお話が展開すること、くり返しの楽しさなど、昔話には、子どもたちが好きな要素があふれています。未知の世界に入って想像を楽しむ体験は、子どもの心の成長にとってとても大切・・・そしてなにより面白いのです。

「子どもに語る 日本の昔話」全3巻

稲田 和子・筒井 悦子／著
こぐま社

しっかりした昔話の言葉は、耳から聞くとかくきりとしたイメージが浮かんできます。「舌切りすずめ」「こぶとりじい」など有名なお話だけでなく、いろいろな地方の昔話もあります。また、このシリーズには、日本だけでなく様々な国の昔話もあります。



「よみたいききたいむかしはなし①のまきねこのおんがえし」

中川 李枝子／作
山脇 百合子／絵
のら書店

「とらときつね」「桃太郎」「さるのきも」など、明るく愉快な昔話が12編。絵本『ぐりとぐら』の作者による絵も親しみやすく、リズムの良い文章です。「②のまき」もあります。



「子どもに聞かせる世界の民話」

矢崎 源九郎／編
実業之日本社

81の国や民族から一つずつお話を集めた民話集。たくさんのお話が入っていますが、テーマ別に並んでいるので、読んであげたいお話が見つかりやすくなっています。小学生まで長く楽しめる本です。シリーズで「日本の民話」もあります。

「愛蔵版おはなしのろうそく1~10」

東京子ども図書館／編・発行

これまで、子どもたちにくり返し語られ、喜ばれてきた昔話を厳選したおはなし集。聞いて楽しいお話の宝庫です。

“おはなしキャラバン”や図書館のおはなし会など、子どもたちが聞いたことのあるお話が入っています。



「いそっぷ童話集」

いわき たかし／作
ほてはま たかし／絵
童話屋

「北風と太陽の力くらべ」「田舎のねずみと町のねずみ」「うさぎとかめのきょうそう」など、どこかで聞いたことのある有名なお話が17編。どれも短く、のびやかな挿絵がついています。

